



エンジョイ・秋の小野寺

長く続いた酷暑もようやく終わりを告げ、さわやかな秋を迎えることができました。

学習の秋・運動の秋・読書の秋・食欲の秋…
“貴重な秋”を満喫(エンジョイ)しましょう!

☆9月中に実施された行事をいくつか紹介します。
(活動の様子は、HP掲載の写真をご覧ください。)

【5年生 臨海自然教室】

9/12(火)~14(木) 以下のような内容で、17名全員で、臨海自然教室に行ってきました。台風など天候の心配もなく、小野寺小として、初の2泊3日の臨海自然教室が実現しました。



<ねらい>

- ・宿泊に伴う集団生活を通して、集団のきまり、友情、協力などの大切さに気づき、実践しようとする態度を育てる。
- ・海の自然を感じる活動を通して、自然を愛する心を育て、心身の健全な育成を図る。
- ・計画をもとに、自分で判断し行動することを通して、自主自立の精神を養い、生きる力を育てる。

<宿泊地> 栃木県とちぎ海浜自然の家

<1日目> 砂浜活動、ナイトハイク

<2日目> 海岸散歩、館内レクリエーション、

貝の根付け体験、塩づくり、館内レクリエーション

<3日目> 茨城空港見学



【6年生 社会科見学】

9/15(金) 16名全員で、日光に行ってきました。

この日、県南地域では大雨が降って大変だったようですが、日光では、幸いにも傘を使うこともなく、予定した内容をすべて実施することができました。

<内容>

日光彫体験学習

二荒山神社・東照宮・輪王寺見学

日光街道(買い物・散策)



【避難訓練(土砂災害)】

9/20(水) 次のような要領で避難訓練を実施しました。参加した児童は、だれもが「お・か・し・も」を守りながら、真剣な態度で訓練に臨むことができました。

<目的>

大雨が降り土砂災害が起きたときに的確な判断と機敏な行動ができ、自他の安全を考えて、秩序ある行動が取れるようにする。

<想定>

校舎北側の山が大雨により崩れ、校舎東側が地滑りを起こしたときを想定

※本校の現状・・・「別記I」を参照願います。

<山岡先生の話と政府広報 HP より>

- ・雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意
- ・土砂災害を発生させる現象には、主に「がけ崩れ」「地すべり」「土石流」の3つの種類があり、何らかの前兆現象が現れることがある。
- ・前兆現象・・・がけや地面がひび割れる。小石がパラパラと落ちてくる。地鳴りがする。がけや斜面から水が噴き出す。山鳴りがする。腐った土のにおいがする等。

<校長講評より>

・みんな、一生懸命、訓練に参加してくれました。本当にありがとう! 災害対策は非常に難しいですが、みんなの真剣な姿を見て安心しました。

・「自分の命は自分で守る」とか「マニュアルにとらわれない判断を」とか言われますが、なかなか難しいことです。でも、次に言う事は誰でもできますから、しっかり守ってください。

①いつ避難する事態になるか分かりません。1秒を争います。ですから、上履きや靴のかかとは、つぶすことなく、いつでもきちんと履き、逃げ遅れないようにしましょう。

②頭を守るため、帽子は絶対に必要です。日頃から、机やロッカーの整理整頓を心掛け、すぐに帽子をかぶれるようにしておきましょう。

③避難が長引いても、水があれば何とか耐えます。できれば、避難するときに水筒を持ち出せるよう、やはり、身の回りの整理整頓を心掛けましょう。



【3年生 社会科見学】 9/22(金)

<めあて>

- ・スーパーマーケットを見学し、どのような仕事があるか調べる。
- ・買い物客が多く来るためにどのような工夫があるか調べる。



<場所> ヤオハン岩舟店

見学後は、おうちの人に頼まれたお買い物をしてきました。ラップ、ケチャップ、マヨネーズ、バナナ等々、予算内(500円)におさまるように、頭の中で一生懸命計算しながらお買い物をしていました。ちょっとだけ、自分の分のお菓子も買ったのかな?(^▽^)/

【5年生 社会科見学】 9/26(火)

<めあて>

- ・テレビ局を見学し、テレビ局の働きやそこで働いている人の思いや工夫について考える。
- ・自動車工場を見学し、自動車づくりのいろいろな工夫について考える。
- ・見学のマナー、公共の場でのマナーについて学び、実践する。



<見学場所>

- ・ケーブルテレビ栃木
- ・いすゞ自動車栃木工場

【5年生 稲刈り体験】 9/29(金)

残暑厳しい中、今年も小久保茂雄様にお世話になりながら稲刈り体験をしました。バケツ稲よりも はるかに大きく育った稲を刈りながら、実りの秋・収穫の秋を実感していたようです。



【学年親子事業】

<5年生> 9/19(火)

冷房のない図工家庭科室で汗だくになりながら、親子でオムレットとチュロスをつくりました。おうちに帰って食べたオムレットとチュロスの味は格別だったことでしょう。

<3・4年生>9/27(水)

体育館で、玉入れ大会を行いました。背中にかごを担いで逃げ回るお父さんを追いかけるなど、楽しく玉入れを行いました。まさに、“エンジョイ玉入れ”タイムになりました。

「別記1」 【自然災害に対する危機管理】

「校庭のひび割れ」にともなう諸対応について
▶ 栃木市教育委員会から保護者各位への連絡通知(令和5年2月16日付)より抜粋

小野寺小学校におきましては、令和4年3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震により校庭南側に複数のひび割れが発生しました。また、同年5月には、県の土砂災害特別警戒区域の見直しに伴い、新たに敷地の一部が土砂災害特別警戒区域に指定されたところがございます。このようなことから、市において切土や盛土が行われた校庭等地盤の状態を把握するための調査を実施した結果、校庭等地盤の安定度については、国が示す基準を上回る状況であることを確認いたしました。(以下省略)

▶ 上記のとおりですが、さらに安全を確認するため、現在も、校庭南側には、モニタリング機器が設置され、追跡調査が続いています。また、今後の安全対策として、体育館西側の岩盤斜面からの石片落下を防ぐための落石防護網の設置が予定されています。

▶ 学校現場としましては、今回の避難訓練のように、いろいろな状況を想定し、職員間で意見を出し合い、また、関係機関や地域の方々からの情報を参考にしながら、常に危機感をもって対応させていただきます。今後ともご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

※「現在のプールの新設工事の際には、この場所の岩盤の硬さが相当なもので、特別な重機が必要になった。」という事も聞いたことがありますが、過信することなく、最新の情報を確認しながら対応して参ります。

***** 江田コラム *****

- ◇ 子どもたちの笑顔ほど貴重なものはない。
- ◇ 子どもたちの笑顔ほど魅力的なものはない。
- ◇ 子どもたちの笑顔ほど、こちらの気持ちを救ってくれるものはない。つくづくそう思います。簡単そうで、決して簡単ではない「笑顔」「元気」「エンジョイ」

屈託のない笑顔を見せてくれる子どもたちには、感謝しても感謝しきれません。こちらが子どもたちを笑顔にしなければいけないのに、どうしても子どもたちから笑顔をもらってしまいます。10月の生活目標は「外で元気に遊ぼう」になっています。心身ともに安全安心で、休み時間や昼休みに、子どもたちの笑顔と歓声でいっぱいになるよう、尽力して参ります。

もちろん、授業中“できた喜び”から出る笑顔のためにも!! 「やった!」「できた!」という瞬間の子どもたちの笑顔も最高です!